

平成23年度 加茂市学校教育研究会道德部の取組

心に響く道德授業

～体験活動を道德と関連付ける指導のあり方～

加茂市学校教育研究協議会 道德部部长
加茂市立加茂南小学校 教諭 頓所一嘉

1 今年度の主たる活動

- (1) 期 日 平成23年6月24日(金) 14:10～16:30
- (2) 会 場 加茂市立須田中学校
- (3) 参加者 道德部員 11名(小学校5名 中学校6名)
須田中職員 9名(道德部員の授業者と道德部顧問を含む)
- (4) 内 容 授業研究 「いじめについて 3つの手紙」(人間愛 思いやり)
授業者 加茂市立須田中学校 星野智加 教諭
指導者 上越教育大学 准教授 白木みどり 様

2 研修の概要

加茂市では、市教研道德部として小・中学校合同で指導力の向上に取り組んでいる。昨年度は、加茂小学校での授業研究会と、指導主事先生を招いての研修会を実施した。

今年度は、須田中学校での道德授業研究会(指導者 上越教育大学准教授 白木みどり様)に参加し、研修を深めた。

須田中学校は、研究主題を「よりよく生きようとする生徒の育成」として、その実現のために、体験活動と関連付けた道德授業を実践している。

この日の授業は、生徒会活動と関連付けた授業が展開された。

生徒会活動

いじめ撲滅運動(6月、10月)

「スマイル集会」(いじめについて考える。)

「ハッピースマイル宣言」(明るい仲のよい学校にするために、
自分ができることを考える。)

「ハッピーノート」(学校生活の中で嬉しかったこと等を一冊のノートにして全校生徒に紹介する。)

2-(2)
人間愛
思いやり

【多様な意見に出会うグループ学習】

授業後の協議会では、「生徒一人一人が自分の気持ちを書くことができていた。」「自分がしっかり考えるために、書くことは大切である。」等、参観者から感想や意見があった。

白木先生からは、授業について、「体験活動を体験学習にするには、道德は不可欠。」「焦点化した内容項目・価値に対して多様な考えを引き出し、自覚させ、深めるのが、道德の時間ねらい。」「自己の価値観を再構成する場面を保証し、個に返す場面が必要。」

「ねらいと終末の整合性が大事。」等、ご指導をいただいた。

その後、「これからの道德教育」と題し、道德の時間を充実させるポイントを分かり易くご講義いただいた。



須田中学校では、来年度、加茂市教育委員会指定の研究会(道德)を予定している。加茂市学校教育研究協議会道德部では来年度も須田中学校の研究会に参加し、日々の授業実践の向上が図られるよう、研修を進めていく計画である。